平成１３年度環境月間行事　　***川の清掃　クリーン作戦***

布留川をきれいにしよう！！

平成１３年６月３日の日曜日、環境市民ネットワーク天理の主催、天理市や各種市民団体等の協力で、第２回目の布留川の清掃作業が行われました。市街地を流れる布留川での清掃作業には、当日約３０名の市民のみなさんが参加され、たくさんのごみや空き缶などをひろいました。参加者にとって今回の作業は、私たちの身近な自然環境を見直す貴重な機会になりました。

今年は、ＰＲ不足だった？のか、昨年よりは参加者がやや少なく、これで予定の範囲のごみ拾いができるのだろうかと心配でしたが、みんなが力を合わせて無事布留川の清掃をすることができました。参加されたみなさん、本当にご苦労様でした。

布留川に入ってごみひろい

今年は雨が少ないので、水量がすくなく汚れがひどいのではと思っていましたが、それほどでもありませんでした。しかし、ごみはたくさん見つかりました。特に草むらの中にはたくさんの空き缶が投げ込まれていました。また、犬の散歩の途中に捨てられたものでしょうか。まだ新鮮な感じのする「犬のうんこ」が橋の下に浮いていました。何でも川に捨てることができた大昔とはちがいます。町の中で犬を飼う場合は、モラルを守ってほしいと思いました。布留川のごみ拾いが、少しでも効果があったといえるようになるよう、これからもがんばっていこうと思います。

第４回ふる里ウォッチング「布留川でホタルをさがそう」

布留川の本流でも、あちこちでゲンジボタルを見つけました！！

今年も、６月１６日の夕方、たくさんの子どもや大人が参加して、清掃作業できれいになった布留川でホタルの観察会をしました。ホタルの観察は、昨年に続いて２回目となります。今年は、ゲンジボタルを観察してみようと、ゲンジボタルの飛ぶ時期に合わせて観察会をしました。

午後７時に市役所前に集合し、暗くなるのをまって出発です。始めに市役所のすぐ近くの布留川南流に向かいました。ここは地元の人々によってホタルが保護されてきた場所です。木陰を飛び交うホタルを見ることができました。

ほら、あそこにもいるよ！

布留川の本流に移動し、天理教の本部前から丹波市小学校までを川沿いに観察しながら歩きました。今までまれにしか見ることができなかったホタルは、本当にいるのでしょうか？みんなでさがしました。すると、すぐに、あちこちから「いたいた！」「ここにもいるよ！」などの声があがり、予想以上にたくさんのホタが市街地周辺でも生きていることがわかりました。しかし、見つかりはしましたが、ぽつりぽつりと光っている程度でさびしそうです。昔のように群れ飛ぶといった状態ではありません。でも、感激の連続の観察会でした。布留川にも、もっともっとたくさんのホタルが飛ぶようになるといいですね。

天理環境フォーラム２００１

～　21世紀の「エコ社会」を考える　～

天理環境フォーラム２００１が天理大学おやさと研究所、天理市教育委員会、そして環境市民ネットワーク天理の３者の主催で、平成１３年３月２９日から４月１日まで、天理市文化センターを会場に開催されました。

環境展のようす　～　エコ社会に向けて　～

平成１３年３月２９日～４月１日（午前９時３０分～午後５時）　展示室にて

三濱善直氏の「エコロジカル・アート」

地元企業の環境への取り組み

こどもエコクラブの活動から

市民の皆さんの活動から

天理ダムの水が危ない

環境シンポジウムのようす

平成 13 年 4 月 1 日（日）（午前１０時～午後５時）　　文化ホールにて

第1部 こども･エコ討論会　～ ２１世紀の天理は、こんな町にしたい ～

エコクラブの発表

真剣な話し合い

第2部　実演「竹と音楽」

竹ぼうきも楽器になると

天理大学雅楽部のみなさんの演奏

第3部 シンポジウム「火･水･風のエコロジー」

各界の最先端で環境問題にチャレンジされている方をパネラーに招いて

布留川の自然を見直そう

ウノハナ、マタタビ、ミズキと、次々と純白の花が湖面や川面を彩る季節　　～　６月　～

ミズキの白い花（滝本町にて）